

ラート情報誌「わっ！」

第46号 2016年夏

日本ラート協会オフィシャルホームページ http://www.rhoenrad.jp/main_flame.htm e-mail office@rhoenrad.jp

第12回世界ラート選手権大会



photo by Bart Treuren



photo by Bart Treuren

2016年6月20～25日、Cincinnati(アメリカ)にて『第12回世界ラート競技選手権大会』が開催されました。

今大会はラート競技でシニア総合決勝が導入され、日本選手の活躍場面が多くありました。また、国際ラート連盟新会長のもと、インターネットでの放映や速報など新しい取り組みが多い大会でした。国内からもたくさんの方に応援いただき、選手団は力を発揮することができました。

日本選手入賞者の結果は以下の通りです。

ラート シニア 男子 総合

1	Schawo Marcel	GER	32.85
2	田村 元延	JPN	31.70
3	高橋 靖彦	JPN	30.35
4	Müller Alexander	AUT	28.00
5	福原 一郎	JPN	25.55
6	小山 信博	JPN	25.35

ラート シニア 男子 跳躍

1	田村 元延	JPN	10.30
2	高橋 靖彦	JPN	10.15
3	Schawo Marcel	GER	9.65
4	Reich Matthias	SUI	8.75
5	Keller Johannes	GER	8.40
6	Rufener Simon	SUI	6.95

ラート シニア 男子 斜転

1	Schawo Marcel	GER	11.40
2	田村 元延	JPN	9.70
3	Müller Alexander	AUT	9.20
4	Keller Johannes	GER	9.15
5	小山 信博	JPN	9.10
6	Reich Matthias	SUI	8.70

ラート シニア 男子 直転

1	高橋 靖彦	JPN	11.80
2	Schawo Marcel	GER	11.70
3	Müller Alexander	AUT	11.60
4	田村 元延	JPN	10.60
5	Reich Matthias	SUI	8.60
6	Leviatov Ido	ISR	7.90

ラート シニア 女子 総合

1	Lessel Lilia	GER	31.60
2	Homeyer Kira	GER	30.80
3	Looft Yana	GER	29.70
4	Rechsteiner Cheyenne	SUI	29.10
5	堀口 文	JPN	28.25
6	Metz Sarah	GER	27.55

ラート シニア 女子 跳躍

1	Lessel Lilia	GER	9.20
2	Metz Sarah	GER	8.75
3	Huber Edwina	SUI	8.35
4	Rechsteiner Cheyenne	SUI	8.30
5	松浦 佑希	JPN	8.20
6	Sølvberg Nina	NOR	8.05

ラート シニア 女子 斜転

1	Looft Yana	GER	11.55
2	Lessel Lilia	GER	11.20
3	Rechsteiner Cheyenne	SUI	11.00
4	堀口 文	JPN	10.05
5	Toren Gal	ISR	9.80
6	Huber Edwina	SUI	9.50

ラート シニア 女子 直転

1	Homeyer Kira	GER	11.80
	Lessel Lilia	GER	
3	Rechsteiner Cheyenne	SUI	11.10
4	Krumm Sabine	SUI	10.90
5	堀口 文	JPN	10.10
6	Davidovich Shir	ISR	10.00

シルホイール 女子 総合

1	Geyer Cassandra	GER	35.40
2	Petsch Jule	GER	34.00
3	森 更紗	JPN	33.05
4	Lück Carmen	GER	31.40
5	Ludiger Sarah	GER	30.25
6	Heidigsfelder Sandra	GER	28.05

シルホイール 女子 自由演技

1	Geyer Cassandra	GER	23.20
2	Petsch Jule	GER	22.90
3	森 更紗	JPN	21.95
4	Lück Carmen	GER	20.70

ラート 団体

1	Germany	52.80
2	Japan	52.00
3	Switzerland	48.25
4	Israel	45.45



(大会結果詳細: <http://www.rhoenrad.com/en/events/wc2016-cincinnati.html#documents>)

日本選手団メンバーより大会の感想が寄せられていますので、紹介します。

【ラートジュニア選手】

● 安部 夏月 たまラートクラブ 高校2年 ●



昨年に引き続き、世界大会に出場しました。

直転は、ベルト技を4つ、そして初めてC難度を入れた演技でした。通し切れるか不安でしたが無事通すことができました。また、今までの中で一番好きな演技になりました。この演技で世界の舞台に立つことができ、幸せでした。

跳躍では初めて宙返りに挑戦しました。今までもやりたい気持ちはありましたが、自分の運動神経の悪さから、出来ないと決めつけてきました。しかし去年から成長したいという思いで挑戦しました。結果として悔いも残りましたが、自分の今の実力は出し切りました。

出場にあたりたくさんの方々を支えていただきました。この経験を糧に今後に生かしていきたいと思えます。応援ありがとうございました。

● 小原 瑞季 たまラートクラブ/遊学の里ラートクラブ 高校1年 ●



今回初めて、世界選手権という大きな大会に出場できたことを本当に光栄に思います。

世界選手権の会場は、今までに味わったことのない空気感でした。大会の様子の動画は見てはいましたが、実際に各国のジュニア選手の演技を目の当たりにして、衝撃を受けました。シニアとほとんど変わらない技をして、シニアと同じような雰囲気を出していたからです。ただ、シニアの選手は、失敗をほとんどしない、というところが異なる所でした。今回、私は、失敗してしまいましたが、そのあとはなんとか通せたのでよかったです。次回、チャンスがあれば、自分の最高の演技ができるように準備をしたいです。会場で日本の国歌が流れた時、とても嬉しかったです。いつか私も表彰台に立てるくらいの選手になり、ご指導していただいているコーチに恩返しをしたいです。また、応援してくださった皆さんに感謝の気持ちを演技で表したいです。このような機会を与えてくださってありがとうございました。

● 五島 珠里 たまラートクラブ 高校1年 ●



photo by Bart Treuren

今回の世界大会では3種目出場しました。それぞれの種目に向けて、アップしたり、気持ちを集中させるタイミングを考えて体を休ませなければならぬことは、私にとってはとても難しいことでした。

アメリカと日本との時差で演技前に眠くなったり、演技中は今までしたことのない失敗をして、対処に焦ったりと色々なことがありました。

満足のいく演技ができなかったのはとても悔しいですが、いい経験になったと思います。

もし2年後の世界大会に出場できたら、今回の経験を生かしてもっとがんばりたいです。そして、D難度を成功させたいです。

ご支援・応援してくださった皆さま、ありがとうございました。いろいろな反省点はありますが、私は今回の世界大会を楽しむことができました！



photo by Bart Treuren



【ラートシニア選手】

● 相原 奨之 筑波大学体操部 院 2年 ●



photo by Bart Treuren

初めての世界選手権は、正直悔しい気持ちでいっぱいです。1種目目の直転の最中に怪我をし、途中棄権という形で試合を終えました。応援して下さった多くの方々の期待に応えられなかったことを本当に悔しく思います。しかし、今大会中、会場のたくさんの方から優しい言葉を頂き、私は前を向くことができました。そして、次の目標が決まりました。それは、必ず2年後の世界選手権に出場し、リベンジすることです。今の私に足りないものを補い、さらに成長した姿である舞台に立つ所存です。今大会に出るにあたり、様々な面でご支援・ご声援いただいた多くの関係者の皆様に御礼申し上げます。ありがとうございました。



photo by Bart Treuren

● 小山 信博 筑波大学附属桐が丘特別支援学校 ●



photo by Bart Treuren

この度の世界選手権におきまして、ご声援、ご支援を賜りましたみなさまに心より御礼申し上げます。今大会では、みなさまに応援していただき、念願としていた個人種目別斜転の決勝進出が叶いました。その一方で、決勝進出してはじめて、霧の向こうだった表彰台が、はっきりと現実味を帯びた目標として見えました。

シカゴからの3年間、最大限の努力をし、時間をかけ、個人種目別斜転決勝の演技前までに考えることのできた、すべての準備を怠りなく積み重ねてきました。その斜転の、決勝で犯した、たった一つの大減点は、いま、私の心に新たな闘志を静かに燃え上がらせています。

決勝進出の先、メダル獲得までを明確なビジョンとして持ち、次の2年間、研鑽を重ねます。

このような素晴らしい機会をいただきましたみなさまに、あらためて、厚く御礼申し上げます。ありがとうございました。



photo by Bart Treuren

● 高橋 靖彦 アクティブつくば ●



photo by Bart Treuren

大会が終わって、様々な想いが駆け巡っています。ここでは全て書ききれませんが、最も強いのはやはり感謝の気持ちです。沢山の方々に応援・支援をしていただき、大会に臨めたことは、言葉では表現できない程ありがたいことでした。ラートを始めた頃を思い返すと想像もできません。この場をお借りして心から御礼申し上げます。そのお返しになるかは分かりませんが、ここまでの道のりで学んだ数多くのことについて、お会いした際に話に花を咲かせればと考えております。どうぞお気軽に声をかけて下さい。また、ラートの世界をさらに盛り上げていけるように頑張りますので、今後も応援の程よろしくお願い致します。



photo by Bart Treuren

● 田村 元延 常葉大学短期大学部 ●



photo by Bart Treuren

今回で6回目の世界選手権でした。仕事など時間の限られる中で、大会に向けて調整できたこと自信になりました。

こうした過程の中で今できることを今できる範囲で向き合い、「一所懸命」に取り組むことの大切を学んだ気がします。

また、帰国後、ラート関係者、職場の方々、学生など色々な方々から「おめでとう」と声をかけられ、本当に多くの方々に支えられていたのだと実感しております。

このように試合を終えると、毎回、様々なことを学び、感じている自分に気がつかれます。

この気づきを大切に、今後もラート界に還元できればと考えております。

これまでご支援していただいた方々に感謝申し上げます。本当にありがとうございました。



photo by Bart Treuren

● 福原 一郎 カゴメ株式会社 ●



photo by Bart Treuren

去年に引き続き、世界大会に出場でき、大変充実した時間を過ごすことができました。出発前は会社の方からも暖かい応援をいただき、たくさんの方に支えられていることを実感した大会でした。

結果は個人総合5位と、自分でも驚くような結果を残すことができ、去年と比べて世界での手応えを感じることができました。しかし、個人総合決勝の直転、斜転は満足のいくものではなく、何度演技しても失敗しない選手と比べて実力不足を痛感しました。以降の練習の課題にしたいと思います。

最後になりますが、出場にあたり応援して下さった皆様、支えて下さった皆様に、本当にありがとうございました。今後ともどうぞよろしくお願い致します。



● 月岡 美穂 松本大学 4年 ●



photo by Bart Treuren

人生初めての世界大会。目標は何よりも「楽しむこと」でした。大会に近づくにつれ「本当に私のようなものが日本代表として出場していいのかわ」と悩むことがあり、その時多くの方から頂いた言葉が「楽しんで来い！」。本当にうれしかったです。そのおかげで私は胸を張って世界大会に出場することができました。

結果としては緊張により多々ミスがみられ、自分で納得のいく演技ではありませんでしたが、目標の「楽しむこと」は達成できました。今回残った悔いは、次の世界大会で晴らせるよう頑張ります!!

今回多くのサポートしていただきましたコーチ、サポーターの皆様、ご支援ご声援いただきました多くの皆様、そして初心者の私を引っ張ってくださった日本選手団の皆様、本当に、本当にありがとうございました。



photo by Bart Treuren

● 堀場 みのり 筑波大学体操部OB・OG ●



photo by Bart Treuren

愛知に戻り、指導を中心にラートに関わってきました。全日本で世界選手権の権利を得たとき「また挑戦したい」という気持ちに気付かされ、復帰を決めました。練習環境の確保に苦労し、何度も気持ちは揺らぎました。その都度、代表メンバーや応援して下さる大勢の方に励まされ、たどり着くことができました。終わってみると反省と更なる欲も出てきますが、本番は今の私にとって最高の演技を披露できました。

約半年間、再び私自身が競技者として活動するなかで気付くことや楽しみの再発見もたくさんありました。今後も私自身が楽しみながら、ラートの魅力を深め、そして広めていきたいです。ご支援・ご声援いただき、有り難うございました。



● 堀口 文 筑波大学 ●



photo by Bart Treuren

大会前の数カ月は私にとって過去最高に辛い期間でした。直前3ヶ月間、怪我により斜転と跳躍はおろか、大好きな直転ですら満足に練習できず、直転以外は棄権することも考えました。しかしリハビリをみてくださった先生方やサポートして下さった方々のお陰で無事に全種目出場でき、再び世界選手権の舞台に立てたことがとても嬉しかったです。一番の目標にしていた種目別直転の決勝ではミスが出てしまい、悔しさはありますが、守らずに攻めた演技で臨んだ結果なので後悔はありません。その他でも個人総合と斜転で入賞することができ、どの種目でも世界で戦える、更に上を目指せるという手応えと自信を得られた大会でした。これからも自分の理想の演技を追い求めていきます。今大会におきましてご支援、ご声援くださった方々に心より御礼申し上げます。ありがとうございました。



photo by Bart Treuren

● 松浦 佑希 筑波大学大学院 博士前期課程 2年 ●



photo by Bart Treuren

今回の大会を終えて最初に思ったことは、本番で演技をするのは自分自身ですが、あの場所は、本当に多くの方々に支えられて、助けてもらっていて、そしてやっとたどり着ける場所であること。自分は一人で試合しているんじゃない、ということでした。また、結果まであって、過程に学びを得るのだなと思いました。重ねてきた練習に後悔はありませんが、悔しさと多くの反省が残る大会となりました。

最後になりますが大大会、コーチとして同伴して下さった方、現地でサポートして下さった方、大会前から日本よりご支援・ご声援くださった方、本当に多くの方々が支えて下さったおかげで無事に大会を終えることができました。皆様のサポートなしにはあの場で演技ができなかったと思います。この場をお借りして改めて感謝申し上げます。ありがとうございました。



● 吉行 暢子 筑波大学体操部OG ●



photo by Bart Treuren

はじめに、応援して下さった皆様へこの場をお借りして深く御礼申し上げます。今大会は自分の満足のいく演技をするという目標のもと、昨年よりも3種目とも難度をあげ、練習も時間を割り臨みました。しかし、結果は悔し涙を流すものとなりました。それは、どこかで妥協していた自分、準備不足であったことを自覚していた自分に対しての涙であったように思います。もっと自分に厳しく練習に取り組み、2年後の世界選手権をもう一度目指すつもりであります。

これまでがむしゃらに世界を目指して練習に取り組んだ2年間でした。今後は一度初心に戻り、色々な技に挑戦したり、ラート指導にも積極的に参加したりしていきたいと思っています。



photo by Bart Treuren

【シルホイール選手】

● 森 更紗 たまラートクラブ/遊学の里ラートサークル/松本大学ラート競技部 コーチ ●



photo by Bart Treuren

様々な形で応援して下さる方がいること、本当に心強く、感謝の気持ちでいっぱいです。また、日本ラート協会、日本代表選手団、シルホイール元代表の松本さん吉川さんには、大変お世話になりました。シルホイール選手として初出場の世界大会でしたが、皆様のおかげで、日本人選手として初のメダルを獲得することができました。シルホイール歴は1年未満と短いのですが、12年のラート歴で培ってきた技術を活かしたことも、結果に繋がったかと思います。今後はこの結果に奢ることなく、更に技術を高め、より魅力的な演技を披露して参ります。改めまして、皆様からの多大なるご支援ご声援に深く御礼申し上げます。ありがとうございました。



photo by Bart Treuren

【コーチ】

● 大島 暢 松本大学 4年 ●



初めての世界大会に光栄にもコーチとして同行させていただきました。わからないことだらけで不安でしたが、コーチ陣の皆さんや選手の方によく声をかけていただき、大変うれしかったです。自分にできることは少なかったですが、少しでも選手の支えになっていたら大変嬉しく思います。憧れの日本代表団の皆さんと共に、世界大会に参加できたことは自分にとって多くのことを学ぶことができました。今大会で培ったものを大事にして、今後のラート活動に活かしていきます。最後になりましたが、日本代表団を応援して下さった皆さま、心より感謝申し上げます。



photo by Bart Treuren

● 宗 遼平 東海大学 OB ●



はじめに、常日頃よりお力添えくださり、今大会において多大なるご支援、ご声援をくださった皆様に心より感謝いたします。今年も達成、歓喜、無念など、数多くのドラマがあり、今までになく選手達の強い念を感じる事ができた大会でした。また、IRV から今後の展望が示され、世界大会に少しずつ変化の兆しが見えています。そのような中で、日本のさらなる活躍を祈り、今後のラート界の発展に寄与してまいりたいと思います。



photo by Bart Treuren

● 但馬 絵美子 ラートサークル SAKURA ●



フロアで直接選手のサポートをしたいという気持ちがあり、今回はコーチとして参加させていただきました。コーチとは名ばかりで頼りなかったかとは思いますが、精一杯務めさせていただきました。審判ではなくコーチでの参加にご賛同いただいた選手団の仲間、参加の後押ししてくれた家族、国内で選手団を応援して下さった皆様に感謝申し上げます。忙しい日々ではありましたが、とにかく楽しく、あっという間の遠征でした。ルールや選手のサポート面での反省もありますが、今後に活かしたいと思います。

選手のレベルの向上や国際大会の発展により、大会の中で選手以外のメンバーができるサポートも大切になっていると感じています。今回の体験を多くの方に伝えていきたいと思っています。



photo by Bart Treuren

● 橘 智子 筑波大学体操部 ●



今回はじめて世界選手権へご同行させていただき、至らぬ点もたくさんあったと思いますが、とても楽しませていただきました。また、本大会でいろいろな国のたくさんの方と関わることができ、ラートを通じて世界に友達ができることの楽しさを改めて実感することができました。選手の方々の演技を近くで観させていただいて、技と技のつながりの美しさ、新しい展開の発想力やつま先の強さに驚かされました。この経験を今後の活動に生かすことができるように頑張りたいです。



photo by Bart Treuren

【団長、国際審判員】

● 本谷 聡 筑波大学 ●



今大会は、新会長に Henningsen 氏が就任した後の最初の大会。個人総合の決勝導入や競技実施時間を午後から夕方に移行するなど、様々なアイデアが盛り込まれた大会であった。

その大会で、日本代表選手は多くの成果を挙げる活躍をみせ、個人では、金2個、銀3個、銅3個(シル含む)、団体では僅差の2位で銀メダルを獲得できた。日本のトップ選手の演技が、世界でも認められ、さらに評価された大会であったといえよう。改めて、日本のラート界に関わるすべての仲間に感謝申し上げます。ありがとうございました。



Special thanks!!!



国内外で多くの方が日本代表チームを支えてくださいました。ありがとうございました。

☆試演会・壮行会 (2016年5月22日筑波大学中央体育館体操場にて)

試演会にはたくさんの方にお集まりいただき、選手へ激励のお言葉を賜りました。ありがとうございました。

試演会開催にあたり、筑波大学体操部の皆様にお世話になりました。また、千葉県立手賀の丘少年自然の家の竹園さんがたくさんの撮影をしてくださいました。心よりお礼申し上げます。



☆「あたたかいご支援をありがとうございました。」

この度、第12回世界ラート競技選手権大会日本代表選手団のために、あたたかい応援金を賜りましてありがとうございました。ここにお礼申し上げます。

～ ご支援いただいた方 ～ (五十音順)

安西映子 様、伊佐義史 様、大枝勇誠 様・正子 様、大塚隆 様、岡田千栄子 様、押田洋之 様、加藤和子 様、金井彩陽子 様、北島瑛二 様、五島賢造 様、斉藤茂浩 様、田村憲一 様・貴子 様、田村千佳子 様、西井啓介 様、西井陽平 様、長谷川聖修 様、松本陽一 様、丸山 ヒトミ 様、本島淳夫 様、本村三男 様・みどり 様、森口茂樹 様、森大輔 様、山口賢昌 様、

～ お土産をご提供いただきました ～

株式会社 安藤醸造 様

例年、ラート日本代表選手団は、現地でお世話になる方々へお土産を持参しています。今回は高橋靖彦選手の地元秋田県角館の安藤醸造様から、生醤油(きじょうゆ)をお土産として提供していただきました。海外のラート関係者や大会関係者に大変喜んでいただけました。ありがとうございました。(安藤醸造 HP はコチラ <http://www.andojyozo.co.jp/>)

☆現地で選手を支えてくださいました

ジュニア選手の保護者の皆様が現地で選手を支えてくださいました。

食事の差し入れ、撮影、荷物の管理、優しい声掛けに選手団は励まされました。ありがとうございました。



安部達彦さん



五島美歩さん



小原圭子さん

☆素敵な写真をありがとう!



オランダの写真家 Bart Treuren さんが、近年ラートイベントで素敵な写真をたくさん撮ってくださいました。日本選手団の写真も盛り沢山! ありがとうございます。

Bart さんのウェブサイトはこちら <http://www.barttreuren.eu/>
ラートのページ <http://www.rhonrad.eu/>



photo by Bart Treuren



photo by Bart Treuren

大会の様子は以下のページで振り返ることができます。

<https://www.facebook.com/2016rhoenradJPN>

【事務局便り】

◎ 「第12回世界ラート競技選手権大会」の映像販売のお知らせ

1式 3,150円＋送料 (DVD)

《お問い合わせ先: 日本ラート協会》
〒187-0023 東京都小平市上水新町 2-27-30
電話: 042-349-2024 FAX: 042-349-2524 e-mail: office@rhoenrad.jp

◎ 今年度の主な行事

- | | | |
|-----------------------|--------------------|------------------------|
| ・ 第12回全日本学生ラート競技選手権大会 | 日程: 8/27(土)～28(日) | 場所: 名古屋芸術大学西キャンパス第1体育館 |
| ・ 夏季ラート実技講習会 (学生対象) | 日程: 8/29(月)～30(火) | 場所: 名古屋芸術大学西キャンパス第1体育館 |
| ・ 夏季ラート実技講習会 (一般対象) | 日程: 9/10(土)～12(日) | 場所: 千葉県立手賀の丘少年自然の家 |
| ・ 目指せ名人! 第2回ジュニアラート大会 | 日程: 9/22(木祝) | 場所: 高尾の森わくわくビレッジ 体育室1 |
| ・ 第22回全日本ラート競技選手権大会 | 日程: 12/10(土)～11(日) | 場所: つくばカピオアリーナ |
| ・ 春季ラート実技講習会 (一般対象) | 日程: 3/11(土)～12(日) | 場所: 千葉県立手賀の丘少年自然の家 |



【お知らせ】

◎ 国際規則の技の申請について

国際規則の難度表に掲載のない技で、国際大会でB以上の難度を希望する技がある場合、国際ラート連盟技術部に提出する必要があります。申請したい技のある選手は、下記連絡先までお知らせください。

2018年の世界選手権大会のための申請締め切りは**2017年9月末**とします。

連絡先: 日本ラート協会国際部会委員 但馬 絵美子 [rhoenrad_wa\(at\)yahoo.co.jp](mailto:rhoenrad_wa(at)yahoo.co.jp)
3日以内にお返事いたします。返信のない場合は日本ラート協会事務局までご連絡ください。

※ なお、申請には動画が必要です。動画は過去の大会で成功している技のみ受理されます。

◎ ラート競技難度表 2015(直転)・(斜転)に掲載されていない技の申請について

過去に国内で新技として認められている技、また、既に国際規則で新技として 難度が認められている技であっても、ラート競技難度表 2015(直転)・(斜転)に記載のない技については、新たに新技申請が必要となります。第22回全日本ラート競技選手権大会で行う技申請の第一回申請締め切りは9月3日とします。

申請方法は技の動画をDVDに録画し、日本ラート協会事務局西井へ**9月3日必着**で送って下さい。日本ラート協会技術部会で審議を行い、結果は後日本人にご連絡致します。



【編集後記】

前回のラート情報誌で「今年は車を運転する!!!」と宣言した私…。ついに先日十数年ぶりに公道を運転しました! 夜、人通りのない駐車場で練習、そしておそろおそろ公道へ… びゅんびゅん飛ばしていたつもりですが、お察しの通りカタツムリでした。昼間の道を走るのはまだまだ、高速なんて夢の夢。さて、どうなる私の運転。

ラート協会広報部会委員 但馬 絵美子